

# αモデルを堅持しながら柔軟なSaaS利用が可能な環境整備を推進 ウェルビーイングな環境整備に尽力するA10 Thunder CFW

## 顧客名：

舞鶴市

## 業種：

地方自治体

## A10のソリューション：

A10 Thunder CFWによるローカルブレイクアウト

## 課題：

- 5年に一度のネットワーク更改を迎え、柔軟にクラウド利用できる環境整備を目指す
- 高度なセキュリティを誇るαモデルを堅持しつつ、利便性の高い環境が必要
- IPアドレスではなくホスト名を判断基準に振り分け可能な仕組みを模索

## 導入効果：

- 必要なクラウドサービスへのローカルブレイクアウト可能な環境を整備
- スムーズに必要な環境にアクセスできることで業務の効率化に寄与・住民および職員双方にとってウェルビーイングの実現に向けた第一歩に



舞鶴市  
総務部 デジタル推進室長  
吉崎 豊氏



舞鶴市  
総務部 デジタル推進課  
情報管理係長  
池田 大輔氏

“ WebプロキシとしてA10 Thunder CFWを導入していますが、ローカルブレイクアウトだけではない底力のあるソリューションだと期待を持っています。”

総務部 デジタル推進室長 吉崎 豊氏

“ A10 Thunder CFWによるローカルブレイクアウトによって、従来のVDIによる仮想閲覧環境から脱却でき、業務の効率化にも大きく貢献してくれると思っています。”

総務部 デジタル推進課 情報管理係長 池田 大輔氏



日本海に面した京都府の中丹地域に位置する舞鶴市では、庁舎内のネットワーク更改を迎えるにあたり、三層分離におけるαモデルを堅持しながら、官民一体となった街づくりや移住・子育て支援事業など、外部とのやりとりを円滑に行うためのネットワーク環境を模索しています。LGWAN接続系の端末からでもクラウドサービスにセキュアかつ柔軟にアクセスが可能なローカルブレイクアウト環境を実現するべく、A10 ネットワークス(以下、A10) が提供する「A10 Thunder® CFW」を採用しています。

## 課題：ネットワーク刷新のタイミングで、柔軟にクラウド利用可能な環境整備を目指す

古くから海軍ゆかりの街として知られ、現在も海上自衛隊舞鶴基地のある京都府舞鶴市。リアス式海岸の豊かな自然と、戦国時代に築かれた田辺城や明治から大正にかけて建設された軍需倉庫群、赤れんがパークなど歴史文化遺産にも恵まれ、地域資源を活かして魅力的な街づくりを進めています。

2022年に策定した「舞鶴市DX推進計画」は、業務のデジタル化による住民サービスや市民満足度の向上を実現するべく、舞鶴らしいDX「人のぬくもりのある、デジタル技術でワクワクするまち」を目指し、デジタル推進課を中心に環境整備を進めています。「舞鶴市におけるDXに向けた活動指針を軸に、“最新は最良なり”という考えのもと、さまざまな取り組みを積極的に進めています」と語るのは、総務部 デジタル推進室長 吉崎 豊氏です。

政府が掲げるクラウド・バイ・デフォルト原則に沿ってさまざまなDX推進の検討を進めている舞鶴市ですが、重要な基盤となる庁内のネットワーク環境が更改時期を迎え、新たな環境整備に取り組む必要がありました。京阪神へアクセスしやすく自然豊かなエリアとして、メディアが実施した住みたい街ランキングで上位に名を連ねている同市は、以前から移住定住政策や子育て支援に注力しており、官民一体となった取り組みに欠かせない外部連携しやすいネットワーク環境が求められていました。そこで、柔軟にクラウド利用できる環境整備を念頭に、新たな環境への刷新を進めることになりました。

## 検証：ホスト名を判断基準に振り分け可能な仕組みが不可欠

ネットワーク環境の刷新は急激に変化させるのではなく、自治体ネットワークの三層分離で高度なセキュリティを誇るαモデルを堅持しながら、利便性の高い環境の整備を目指しました。そこで、Webプロキシの設置や、特定通信として指定したクラウドサービスのみでのローカルブレイクアウトといった、利便性と安全性を両立できるネットワーク基盤を希望しました。「他自治体の事例も参考に、

必要なものだけを安全な形でブレイクアウトできるよう、Webプロキシを調達することにしました」と吉崎氏は振り返ります。

また、多くの自治体はMicrosoft 365の認証やMicrosoft Teamsの利便性向上を目的にローカルブレイクアウトを検討していますが、舞鶴市は現時点でMicrosoft 365を利用していません。いずれは利用する可能性があるため、チャットツールやクラウドストレージなどが利用できる働きやすい環境を念頭に、新たな調達を進めることになりました。

具体的な入札要件は、Webプロキシとして機能するソリューションであり、1000名ほどが利用しても十分なパフォーマンスが得られること、そして特定のクラウドサービスだけを安全にブレイクアウトできる仕組みであることが掲げられました。「特に重視したのは、IPアドレスでの制限ではなく、ホスト名を判断基準に振り分けが可能な仕組みを前提としたことでした。クラウドサービスはIPアドレスの変更が多く発生するため、運用を考えるとホスト名で判断できる必要がありました」と語るのは総務部 デジタル推進課 情報管理係長 池田 大輔氏です。最終的に選定したのが、最もコストパフォーマンスの優れた仕組みであるA10 Thunder CFWでした。

## ソリューション：快適なSaaS利用に向けたローカルブレイクアウト環境を実現

多くの業務システムがSaaSをはじめとしたクラウドへ移行するなか、A10 Thunder CFWは、SaaSアプリケーションのトラフィックなど特定の通信のみをインターネットへ直接アクセス可能とするローカルブレイクアウトを実現します。明示型/透過型プロキシとして動作するセキュアWebゲートウェイだけでなく、ファイアウォール、IPsec VPN、ロードバランサなどを1ボックス、1ライセンスで提供しており、設備と運用の双方でコスト削減が可能です。

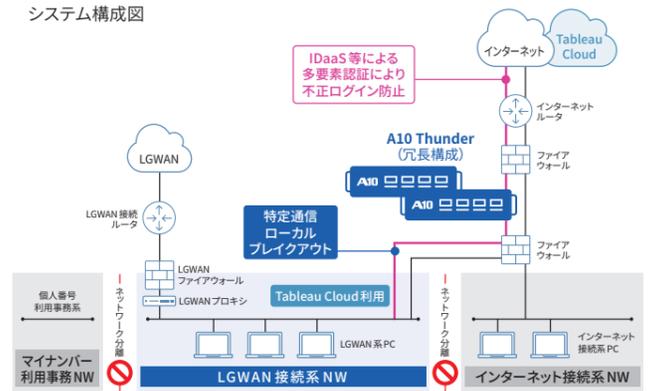
## 導入効果：業務の円滑化に貢献、ウェルビーイングの実現に向けて活用を加速

庁内ネットワークの更改に合わせてA10 Thunder CFWを設置しましたが、これよりローカルブレイクアウトするクラウドサービスの選定段階に入ります。庁内で利用しているBIツール(Tableau)をクラウドサービスに移行することも検討しており、職員による効率的かつ効果的なデータ活用を促進していく計画です。また、LGWAN接続系で利用できる自治体向けのチャットを活用していますが、民間とのプロジェクト時には円滑なコミュニケーションが取りづらことから、もっとグローバルなコミュニケーションツールの移行も視野に検討を進めています。また、「庁内のファイルサーバについても、バックアップやリカバリといった運用に手間がかかります。業務の継続性も意識しながら、クラウドサービスを活用したコンテンツ管理の環境を整えていきたいです」と吉崎氏は語ります。

従来はインターネット側へのWebアクセスをVDIによる仮想閲覧という形でセキュアな環境を維持してきましたが、接続に時間がかかるだけでなく、画面の切り替えにも時間がかかっていました。「必要な環境へスムーズにアクセスできることが業務の効率化に大きく寄与するとして職員も効果を感じています」と池田氏は評価します。

A10 Thunder CFWは、ローカルブレイクアウトしたいクラウドサービスのURLをGUIから設定するだけで実現できるなど簡単な登録だけで済むため、職員だけでも十分運用できます。「従来はCLIで設定する運用も行っていましたが、人事異動が多い自治体だけに、新しいメンバーがマニュアルを見て簡単に操作できるようにしておきたい。A10Thunder CFWであれば、その環境づくりも可能です」と池田氏は話します。

ローカルブレイクアウトによるクラウド利用の加速が進むことで、最終的には住民と職員双方のウェルビーイングを実現したいと吉崎氏は語ります。



「住民の方とのやり取りが活発化し、データの利活用や業務の効率化が進むことで良い状態が作り出せるはずですよ」と吉崎氏。効率化によって職員の業務負担が減り、取引先や住民の方と向き合う時間を創出できるようになることも大きく期待していると池田氏は言います。

A10については、確かな技術や経験に裏付けられた支援があり、スムーズに導入できたと吉崎氏は評価します。「初めてお会いした時からとても親切で、製品の紹介から導入まで一緒に仕事ができとても感謝しています。本格的な稼働はこれからですが、その手厚い支援を今後も継続して欲しいです」と吉崎氏は期待しています。

## 今後の展開：Webプロキシによるローカルブレイクアウトだけでなく機能にも注目

今後については、ローカルブレイクアウトに向けたクラウドサービスの選定を進めつつ、職員が働きやすい環境整備を早期に進めていくことを目指しています。「ローカルブレイクアウトが可能なWebプロキシとしてA10 Thunder CFWを導入していますが、ローカルブレイクアウトだけではない底力のあるソリューションであると期待しています」と吉崎氏は語ります。

現在はαモデルを採用していますが、いずれはβモデルも含めた新たな環境に移行する可能性も当然考えられます。「今は、ローカルブレイクアウトのためのソリューションになっていますが、機能そのものはまだフル活用できていません。自治体に限らず、どのようなクラウドサービスをブレイクアウトしてどのように使用しているのか、また負荷分散のためのロードバランサとしてどのような使い方をしているのかなど、色々な事例も含めて紹介いただくことで、さらなる活用に向けて検討していきたいです」と池田氏は意欲的です。

民間ではクラウドへの移行が加速的に進むなか、自治体として難しい対応に直面しながらも、最良の方法を模索した結果のローカルブレイクアウト。「インターネット側へ移行を進めていくためには、環境整備はもちろん、自分で判断できるよう職員の自立を促していくことも必要です。まだ道半ばですが、使えるものは積極的に活用し、住民と職員のウェルビーイングの実現に向けて取り組みを進めていきたいです」と吉崎氏に今後についても語っていただきました。

## A10 Networks / A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networks (NYSE: ATEN) は、サービス事業者やクラウド事業者および企業で利用される5Gネットワークやマルチクラウドアプリケーションのセキュリティを確保します。高度な分析や機械学習、インテリジェントな自動化機能により、ミッションクリティカルなアプリケーションを保護し、信頼性と可用性を担保します。A10 Networksは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本拠地を置き、世界117か国のお客様にサービスを提供しています。

A10 ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークソリューションをご提供することを使命としています。  
www.a10networks.co.jp/ Facebook : https://www.facebook.com/

記載された内容は2023年8月時点の情報です。



舞鶴市

Learn More  
About A10 Networks

お問い合わせ  
A10networks.co.jp/contact

A10ネットワークス株式会社  
www.a10networks.co.jp

©2023 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 ロゴ、A10 Networksは米国およびその他の各国におけるA10 Networks, Inc.の商標または登録商標です。その他上記全ての商品およびサービスの名称はそれら各社の商標です。A10 Networksは本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networksは、予告なく本書を変更、修正、譲渡、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。商標について詳しくはホームページをご覧ください。 www.a10networks.com/a10-trademarks Part Number: A10-CS-Maizuru City-01 AUG 2023



# 親子の笑顔はじける / 舞鶴市

四季折々の自然の中で紡がれた歴史や文化、そして人々の暮らし。自然環境の保全を進め、人と自然が共存できる潤いあるまちです。

また、子育てに本気です。子育て交流施設や子育てひろばなど子ども達がのびのび遊べ、相談できる施設も充実。各所に保育所・幼稚園があり、子どもの主体性を大切に「質の高い保育」が受けられます。



青葉山ろく公園のアスレチック  
自由に遊べる大人気コース。晴れの日のはのびのびとここで遊ぼう。



子育てひろばが充実  
子育て中の親同士の交流や親子と子どもの遊び場もたくさん。

子育て交流施設  
あそびあむ

晴れでも雨でも親子で楽しい施設。屋内は木のおもちゃや体を動かす場所、屋外は海の見える広場があるよ。



夏は海水浴  
夏といえば海。舞鶴では海水浴場がオープンしてたくさんの人でにぎわうよ。



## おすすめ② / 住みやすい

「街の暮らし」と「田舎の暮らし」が両立できるまち。

旧海軍の歴史が残る東地区や、城下町の名残が残る西地区は駅周辺にスーパーや商店街が立ち並び、車がなくても生活できる住環境です。

海上自衛隊の自衛艦も近くから見られ、非日常感も味わえます。



## おすすめ④ / 飯がうまい

日本海に面した舞鶴には、市内各所に漁港があり、一年を通じてさまざまな種類の新鮮な魚介類が食べられることも魅力の一つ。また山々にも囲まれ、大地の恵みの農産物も豊富です。



舞鶴かに®  
京都府名産のかにといえば、丹後半島沖でとれるズワイガニが有名。なかでも舞鶴漁港で水揚げされたものは「舞鶴かに」と呼ばれるブランド蟹なんだよ。

万願寺甘とう

京の伝統野菜・京のブランド産品として認証されている「万願寺甘とう」。栄養が豊富で煮てよし・焼いてよし・揚げてよし。「地理的表示(GI)保護制度」に京都府で初めて登録されたんだって。



## おすすめ① / アクセス良し

舞鶴市、綾部市、福知山市の3市で構成される中丹地域に属しています。エリア内では通勤、通学での往来も盛んで、週末のレジャーや買い物にも便利な生活圏を形成しています。

京都、大阪、神戸の各都市へ行く際も、車で2時間以内、電車や直通高速バスを利用すれば2～3時間でアクセス可能です。



## おすすめ③ / 色々な働く場

建設、製造、小売、医療福祉、公務など、男女ともにさまざまな働く場。

近年は、従来の産業に加えて、コワーケーション施設にIT企業の拠点ができるなど、新しい産業も広がりつつあります。

※コワーケーションビルディング舞鶴…赤いんがパーク内にあるコワーキングスペース。都市部の企業と市内の事業者とのビジネス交流の場、学生・子どもたちの学びや交流の場として利用される。



岩がき

舞鶴の夏の味覚といえば岩がき。栄養豊富な海で大きく育ち、濃厚でとろける味わいが絶品。



京鯖

定置網で漁獲される1.5kg以上のものが京鯖。刺身にしても焼いても炙っても絶品。西京漬けの食材としても京料理に重宝。

## ほかにもし / 行事など

夏祭りや伝統行事も熱い！雪も積もるのでいろいろな遊びが体験できます。



MAIZURU.OFFICIAL